

感染症発生動向調査情報(週報)

2014年38週(09月15日～09月21日)

山梨県内流行情報

7月中旬に県全体の報告数が警報レベルに達したヘルパンギーナは、県内の全ての地域において報告数が終息基準値である2.0を下回ったため、警報レベルが解除となりました。全国では、RSウイルス感染症の報告数が9月第1週の0.46から今週は0.93と増加傾向にあります。RSウイルス感染症は接触感染・飛沫感染し、発熱、咳、鼻汁など上気道炎症状が特徴的な感染症で、例年、秋から冬にかけて流行しやすい傾向にあります。多くは軽症で済みますが、基礎疾患のある小児や乳児(特に生後数週間～数ヶ月間)が感染すると、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあるので注意が必要です。県内においても今後の流行状況に留意し、普段から感染症予防対策の基本である手洗い、うがい、咳エチケット(マスク着用)等を心掛け、感染予防に努めましょう。また、発熱等の症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

[今週の警報]なし

富士・東部管内流行情報

富士・東部管内においても、ヘルパンギーナの警報レベルが解除となりました。

定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	190	0.04	2831	0.93	973	0.32	3016	1	8669	2.86	1382	0.46
山梨県	-	-	7	0.29	7	0.29	12	0.5	42	1.75	3	0.13
中北	-	-	7	0.88	3	0.38	4	0.5	25	3.13	2	0.25
中北峡北	-	-	-	-	2	0.4	-	-	6	1.2	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	6	1.5	3	0.75	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	2	0.4	7	1.4	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2569	0.85	458	0.15	1630	0.54	36	0.01	2874	0.95	902	0.3
山梨県	11	0.46	-	-	6	0.25	-	-	22	0.92	4	0.17
中北	-	-	-	-	2	0.25	-	-	11	1.38	2	0.25
中北峡北	1	0.2	-	-	-	-	-	-	2	0.4	1	0.2
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	1	0.25	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	10	2	-	-	2	0.4	-	-	8	1.6	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10	0.02	333	0.51	3	0.01	14	0.03	115	0.25	7	0.02
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.1	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	38週		37週		36週		35週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	減少しています	たいへん流行しています	0.29	7	0.42	10	0.08	2	-	-
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.29	7	0.46	11	0.46	11	0.46	11
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	0.5	12	0.58	14	0.79	19	0.46	11
感染性胃腸炎	やや減少しています	平年並みです	1.75	42	2.71	65	2.17	52	1.79	43
水痘	やや減少しています	平年並みです	0.13	3	0.42	10	0.33	8	0.29	7
手足口病	やや減少しています	平年並みです	0.46	11	0.67	16	0.63	15	0.63	15
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	1
突発性発疹	減少しています	平年より少ない発生数です	0.25	6	0.46	11	0.42	10	0.54	13
百日咳	-	-	-	-	0.04	1	0.04	1	0.04	1
ヘルパンギーナ	やや減少しています	流行しています	0.92	22	1.04	25	1.83	44	1.79	43
流行性耳下腺炎	やや増加しています	平年並みです	0.17	4	0.04	1	0.08	2	0.13	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.56	5	1	9	1.44	13
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.1	1	-	-	-	-	0.1	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	85
二類感染症	結核	中北	女	0